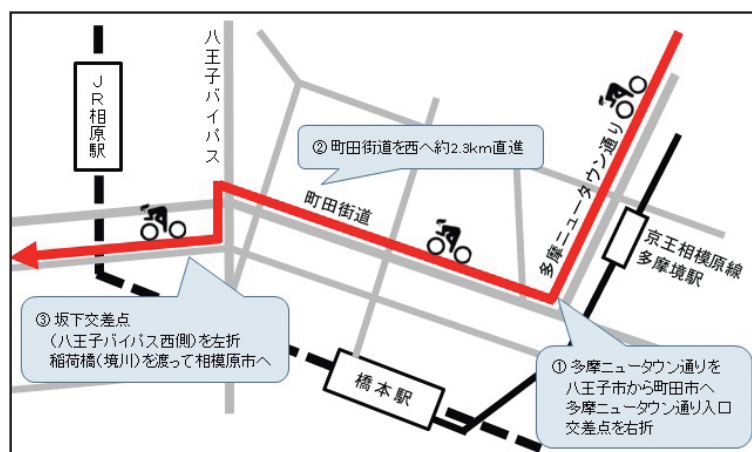


3 東京2020オリンピック自転車競技ロードレース

東京2020オリンピック開会式の熱気が冷めやらぬ7月24日と25日、自転車競技ロードレースが開催されました。男女合わせて66ヶ国から195名の選手が出場し、町田市を含む4都県15市町村にわたるコースが、世界のトップアスリートによる金メダル争いの舞台となりました



町田市内のコースは、都立武蔵野の森公園のスタートから約34km地点にあたる小山内裏トンネルから稲荷橋にかけての約3.4km。選手達は、多摩ニュータウン通りから、町田街道、八王子バイパスへと駆け抜け、レース序盤の駆け引きを繰り広げました。



町田市内コース図（男女共通）

競技概要

開催概要

	男子	女子
日時	2021年7月24日(土)11:00~18:15	2021年7月25日(日)13:00~17:30
総距離	244km	147km
出場国・選手数	57ヶ国・128名	40ヶ国・67名
競技会場	【スタート】 武蔵野の森公園（東京都府中市・調布市・三鷹市） 【ゴール】 富士スピードウェイ（静岡県駿東郡小山町） 【通過自治体】 東京都府中市、調布市、三鷹市、小金井市、稲城市、多摩市、八王子市、町田市、神奈川県相模原市、山北町、山梨県道志村、山中湖村、静岡県御殿場市、裾野市、小山町	

開催までの主な経緯

- 2018年8月 コース決定
- 2019年7月 テストイベント開催
(コラム参照)
- 2020年3月 大会1年延期決定
- 2020年7月 新たな競技日程発表
- 2021年4月 レースに伴う交通規制公表
- 2021年7月 沿道観戦自粛方針発表
競技開催



コース全体図 (男子)

コラム

「Ready Steady Tokyoー自転車ロードー」について

2019年7月21日（日）、東京2020大会の成功に向け、競技及び大会運営の能力を高めることを目的としたテストイベント「Ready Steady Tokyoー自転車ロードー」が、男子の世界自転車連盟（UCI）公認大会として開催されました。

海外ナショナルチームや国内のチームなど20チーム96名の選手が出場し、イタリアのディエゴ・ウリッシ選手が優勝。町田市内でも本番と同じコースで迫力あるレースが展開され、沿道では多くの方がその様子を観戦されました。

当日は、まちだサポーターズ196名もコース沿道で資機材の配置や観戦者への案内などを実施。テストイベントの経験は、交通規制や人員・資機材配置の変更など、2021年の東京2020大会の競技運営に活かされました。

オリンピック自転車競技ロードレースにおける町田市への取り組み

■大会開催及び交通規制の周知

コース沿道地域を中心に、様々な形で競技概要や交通規制等の周知を図りました。

地域代表者への 事前説明	地域説明会に先立ち、組織委員会担当者とともに交通規制の概要を説明 小山連合町内会 代表者に資料郵送（2021年3月19日定例会中止のため） 相原地区連合町内会 2021年4月7日定例会（堺市民センター）にて説明 小山町第三町内会 2021年3月28日定例会（小山第三町内会館）にて説明
地域説明会	競技開催に伴う交通規制周知のため、組織委員会担当者とともに開催 2021年4月10日（土）10：00～堺市民センターホール（参加者8名） 2021年4月14日（水）19：00～堺市民センターホール（参加者6名） 2021年4月17日（土）14：00～小山市民センターホール（参加者16名）
近隣事業者への 個別説明	競技開催に伴う交通規制周知のため、2021年6月にコース近隣の事業者130軒 を訪問し、説明と合わせてポスター掲示やチラシ配布の協力を依頼
新たな交通規制 区間の周知	テストイベントから交通規制が追加された区間について、隣接する町内会に変更 点を説明し、住民への周知の協力を依頼 町有町内会（チラシ全戸配布） 多摩境町内会（6月13日定例会で班長に説明、チラシ回覧・掲示板掲示） 片所町内会（町内会報に記載） 小山町御嶽堂町内会・沼町内会（チラシ回覧）
その他の周知	市ホームページ（2021年4月15日～7月25日） 広報まちだ6月15日号 コミュニティバス車内広告（2021年6月～7月25日） 市民バスまちっこ・小山田桜台小型バス・かわせみ号・玉ちゃんバス ポスター掲示・チラシ配布（2021年6月上旬～7月25日） 各市民センター、木曽山崎コミュニティセンター、駅前連絡所 相原中央グラウンド 町内会・自治会掲示板（市全域、2021年6月中旬～7月25日） 町田ターミナルプラザデジタルサイネージ（2021年7月10日～25日） 商工会議所News2021年7月号（7月20日発行）

東京2020オリンピック競技大会 自転車ロードレース開催
交通規制のお知らせ

7/24(土) 男子ロードレース
7/25(日) 女子ロードレース

交通規制区間
7/24(土) 10:20～12:40
7/25(日) 12:20～14:45

詳しくはこちら
TOKYO2020ロードレース

0570-09-2020 (無料)

自転車ロード交通規制チラシ

自転車競技ロードレースに伴う交通規制のお知らせ

東京2020お問い合わせ窓口 ☎0570・09・2020（月～金曜日、午前9時～午後5時）

7月24日・25日に実施する東京2020オリンピック自転車競技ロードレースに伴い、コース周辺で交通規制を行います。詳細は市HPをご覧ください。

交通規制日	交通規制時間	交通規制区間
7月24日(土) 男子ロードレース	午前10時30分～午後0時35分 午前10時40分～午後0時40分	島田療育センター入口から多摩ニュータウン入口まで 稲荷橋まで
7月25日(日) 女子ロードレース	午後0時30分～2時40分 午後0時40分～2時45分	島田療育センター入口から多摩ニュータウン入口まで 稲荷橋まで

広報まちだでの周知



地域説明会の様子

■コースサポーターの確保

コースサポーターは、東京2020オリンピック競技大会の自転車競技ロードレースの沿道で活動するボランティアです。

町田市内では、各日245名（2日間延べ490名）の配置が必要とされ、組織委員会が東京マラソン財団を通じて募集した各日25名（2日間延べ50名）を除く各日220名（2日間延べ440名）の募集等を町田市が担当しました。

●コースサポーターの募集

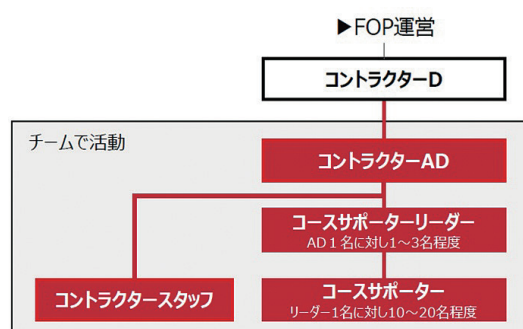
町田市では、まちだサポーターズからコースサポーターを募集しました。

新たな競技日程決定後の2020年10月、2020年のコースサポーター活動を希望されていた方（男子ロードレース228名、女子ロードレース209名）を対象に意向調査を行ったところ、男子ロードレースで189名、女子ロードレースで183名の方から、改めて参加意向を確認できました。必要人数を確保するため2020年12月に追加募集を行い、多くの応募があったため、組織委員会と調整の上、各日225名の方に参加いただくこととしました。

●コースサポーターリーダーの新設

テストイベントでは、コースサポーターへ指示するスタッフ数が限られ、現場の混乱がありました。この経験を踏まえ、大会本番では、コースサポーターをまとめ、チームが効率よく活動できるよう、組織委員会のスタッフをフォローアップする役割としてコースサポーターリーダーを新設しました。

組織委員会では、地域の地理を熟知した自治体職員がリーダーを担うことを想定していましたが、町田市では、ボランティア活動の経験に長けたまちだサポーターズの中からコースサポーターリーダー24名を選任することとしました。



FOP（コース内）の運営体制イメージ図

●コースサポーターリーダー研修会

日時：2021年5月23日（日）9：30～

会場：オンライン開催（市庁舎10-2会議室併用）

参加者：コースサポーターリーダー24名

（オンライン 17人・市庁舎 6名

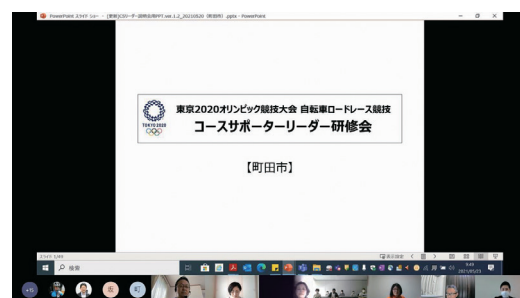
録画映像での後日受講 1名）

内容：第1部 基礎研修（約1時間）

第2部 配置確認（約1時間）

交通規制区間、集合時間等

リーダー担当区間の配置確認



コースサポーターリーダー研修会の様子

●コースサポーター活動説明会

日時：2021年6月19日（土）9：00～・14：00～・18：00～

会場：市庁舎2-1、2-2、2-3・4会議室

（オンラインで3会場をつないで同時開催）

参加者：コースサポーター208名（リーダー含む）

内容：第1部 基礎研修（約1時間）

第2部 配置場所での活動説明（約45分）

※受付時に活動物品（Tシャツ、キャップ、
ア krediyteshonkard、飲料水、
活動マニュアル）を配布



コースサポーター活動説明会の様子

●最終ミーティング

日時：2021年7月23日（金）13：00～

会場：小山市民センターいこいの間

参加者：コースサポーターリーダー

コントラクターD・コントラクターAD

内容：配置場所ごとの競技運営手順の最終確認

配置図確認、チーム内の配置割振り打合せ
現地確認



自転車RR最終ミーティング

■資機材置場及び関係車両駐車場の確保

組織委員会からの依頼により、資機材置場や駐車場の確保につき調整を行いました。

資機材置場

箇所数		資機材の数量		備考
町田市有地	15	鉄柵	137台	市有地・民地の使用は町田市が調整・依頼 テストイベントの経験を踏まえ、よりスムーズに 資機材を配置できるよう資機材置場を30ヶ所追加 (テストイベント時は29ヶ所)
民地	4	コーン	533個	
都有地等	32	コーン・バー	1388セット	
計	59	サイン・標識等	104台	

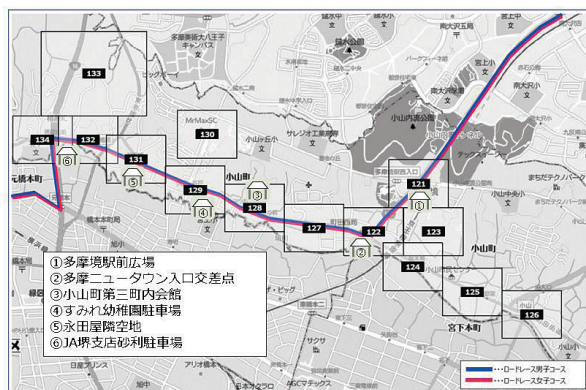
自衛隊車両駐車場（自衛隊員は、競技当日の交通規制要員、沿道の警備員として活動）

駐車場所	車両	日時
小山市民センター 北側空地	小型車両	1台
	中型車両	1台
相原中央公園 多目的広場	中型車両	1台
	大型車両	4台

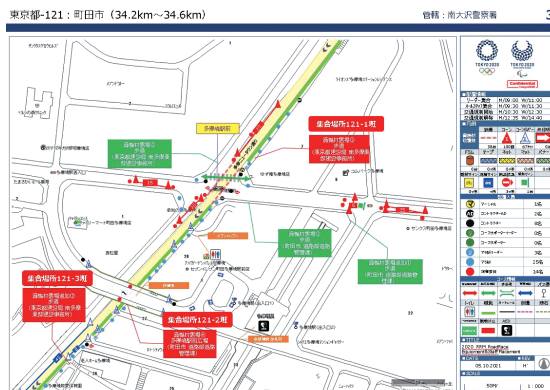
レース当日の運営体制

■資機材・人員配置計画

安全かつ円滑な競技運営のため、町田市内を14区画に分けて、鉄柵やコーン等の資機材、競技運営スタッフやコースサポーター等の人員が、組織委員会の計画に基づき配置されました。また、市では、沿道のコンビニ等にご協力頂き、コースサポーターが使用できるトイレ7ヶ所やAEDを使用できるよう、事前調整を行いました。



資機材・人員配置計画上の14区画と休憩所



多摩境駅前の資機材・人員配置計画図

■市の体制

多摩境駅前に町田市の拠点となる本部を設置したほか、コース沿道6ヶ所に休憩所を設置し、2日間で85名の市職員を配置しました。休憩所には日陰を作り、熱中症の初期対応ができるよう飲料、氷などの物品を配置して、コースサポーターや競技運営スタッフの活動をサポートしました。



多摩ニュータウン入口の休憩所の様子

■当日の様子

両日とも30度を超える猛暑の中、コースサポーターや競技運営スタッフ等は、声を掛け合いながらきびきびと元気に活動されていました。また、暑さで体調を崩された数名のスタッフ等についても、休憩をとることで無事活動を終えることができました。

(まちだサポーターズの活動の様子やコースサポーターインタビューは25ページをご覧ください。)

残念ながら、沿道でのレース観戦は自粛となってしまう、コースサポーターはビブスやメッセージボードで、集まった方にコロナ対策を呼びかけました。

町田街道沿いにあるすみれ幼稚園では、いろんな国の言葉で「がんばれ」と書かれた園児の手作り横断幕が選手達を応援していました。



すみれ幼稚園の横断幕